

保護者の皆様へ 令和2年度始めにあたって



Think Globally

Act Locally

「令和」の時代を創る子どもたち
であることを見据え

「小学校の今」身に付けさせるべき力を、
確実に身に付けさせる

理念 やねらい

具体的な手段

未来を考える
自分以外のことに興味をもつ・知る

今、がんばることができる
自分ができるところを、ここで、やる。

令和2年度学校教育プランデザイン

自分で生きていける強さ

自立(強く やさしく)

すべての人がよりよく生きていけることを希求する働けさと行動力

確かな学力(感じ・考え・表現する) ・ 豊かな想像力 ・ 十分な体力

すすんで学ぶ(知)

違いを知り、認め合う

心豊かに(徳)

基礎学力の定着

出会いを通して学ぶ

人との出会い
異学年・異年齢
外部講師(オリ) (ラ学習)

自分の考えをもつ
静かに振り返り聞く・考える
友だちの考えと出会う(表現・交流)

自然との出会い

出番

帯の時間や家庭学習での
蓄積
「なぜ?」「次はこうしてみたい!」
を育む授業

本との出会い
心の時間の充実

学校をよりよくする取組
あいさつ運動

達成感—満足感—自己肯定感

たくましく(体)

よい姿勢

外遊び

スポーツタイム

食育

ワンミニッツエクササイズ

「強くやさしい京陽の子 15のやくそく」 「京陽のきまり」

認められ、大切にされる、安心安全な学級・学校
①温かくきめ細やかな指導 ②きれいな学校の実現 ③静けさの確保

Think Globally Act Locally

校区教育協働委員会 & 学校支援地域本部 (商人塾・未来塾・自然塾・……)

品川コミュニティスクール

子どものために、教師・保護者・地域が集い、ともに学び合う場としての学校

家庭との連携

地域との連携

□冒頭に掲載したような「理念」を基本に据えつつ、新型コロナウイルス感染症に向き合いながら、子どもたちの学習や生活を少しでも充実させられるよう、日々試行錯誤した1学期でありました。

□各ご家庭・保護者の皆様もまさに、そうであられたことでしょう。

□「先の見通せないこれからの時代を生き抜く力を子どもたちに身に付けさせる」・・・などの言葉を、つい半年ほど前まで極めて“気安く”使っていました。でも、それがどれだけ大変なことか、目に見えないウイルスとの闘いを通して思い知ることになりました。「正解の無い、困難な課題に立ち向かう力」が、まず私たち大人に求められたのだと思っています。

□そのような困難な状況の中、1学期（正確には昨年度の3月以来）、保護者の皆様には学校の教育活動にご理解と、たくさんのご協力をいただいたことに、改めて、心よりの感謝を申し上げます。

□分散登校、そして6月29日からの一斉登校。子どもたちは元気に学校生活を送っています。

□先日の七夕では、短冊に願いを込めて、学級ごとに笹に飾りました。

□私の大好きな行事です。全校児童の短冊を一枚一枚、できるだけ読みました。

□どの短冊も、子どもたちの素直な気持ちが表れていて、心が温くなるものばかりでした。中でも、「今だからこそ」心に残ったのが、右の短冊です。
『みんなが』という言葉が、心に滲みしました。

□「自分が糺りたくない」ではありません。
『みんなが』に込められた、優しい気持ちに心を打たれました。

□同じように「クラスのみんなが」「家族のみんなが」から始まる短冊が、たくさんありました。

□他者を思い遣ることの大切さを、改めて子どもたちに教えられたとともに、こんなに優しい子どもたちの姿を、ぜひ保護者の皆様、地域の皆さまにお伝えしたいと思いました。

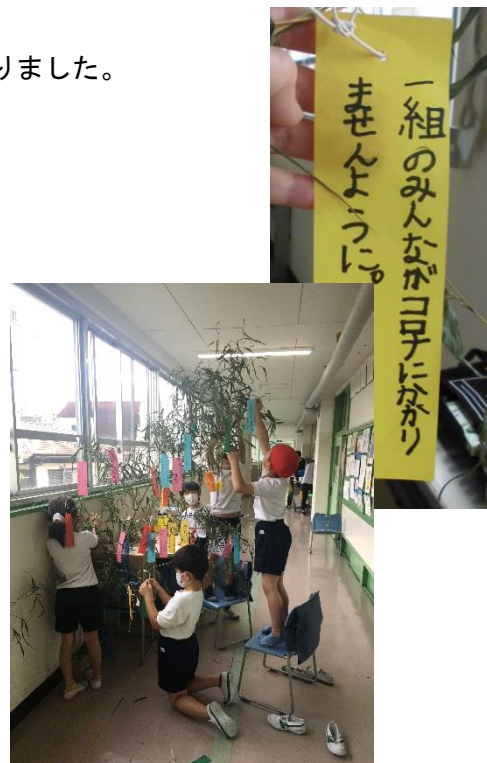
* * * * *

□さて初めて尽くしの日々、今学期初の保護者会も、初の紙面保護者会となります。

□「6月からの分散登校による学校再開」にあたって、教育活動の柱を、以下の3点お知らせしました。

1：命を守る 2：学びを守る 3：心を守る

□本稿ではそれぞれの項目について振り返るとともに、今後の予定や取り組みの方向性をお伝えしたいと思います。



1：命を守る

□手洗いや消毒、マスクの着用、近づきすぎないなどの行動が、自然とできるようになってきています。

□学年の発達段階に応じて、紙芝居や映像資料なども用いて、「学校での過ごし方」や「具合の悪い人を差別しない」などの指導を行っています。



□これからも毎日の検温や健康チェックにご協力ください。

□保護者の皆さまも、来校時には、A昇降口受付での検温と来校受付簿への記入をお願いします。

□同時に、十分な注意を払っていても感染はあり得ることを常に肝に銘じておきたいと考えます。日々気を付けて生活した上での感染です。万が一の時にもそのことで責めない・責められない、そして差別がない。そのような学校であることをめざします。

2：学びを守る

□学年の発達段階によって差はありますが、どの子も家庭学習を通して、「自分で学習を進める」経験を積むことができたことは間違いありません。

□「自分で調べたらわかった。」「家ではむずかしいと思っていたけれど、学校の授業でもう一度やったら、2回目でもうやくわかった。」などの言葉が子どもたちから聞かれています。また、高学年や中学年では、自分のペースでじっくり取り組む時間があつたことにより、自信を付けた子どもも多かったようです。

□一方で、「自分で学習を進める」ことに苦労した児童もいました。特に低学年では大変だったことでしよう。

□いずれにせよ、長い臨時休業・分散登校、家庭学習では保護者の皆様に多大なご協力をいただきました。保護者の皆様からご家庭でのご苦労の様子を聞きながら、家庭学習課題の工夫をしましたが、十分でなかったことも多くあつたと思っています。反省を今後の教育活動に生かしていきます。

□その大きな一つが、ICTの活用推進です。感染の第二波、第三波を想定すれば、待ったなしの課題です。学校でも、例えば子どもたちが校内でZOOMによるコミュニケーションするなどの取り組みを少しずつ始めています。

□ただし、以下のことを心したいと思います。

- ①ICTは万能ではない。実際に見る、触る、直に話す・聞く、意見交換する・・・etc。それらのことは、方法を工夫して担保すること。
- ②ICT活用には、情報リテラシーの理解・定着が必須であること。





「ねえねえ、見て見て！」

- 7月始めの2年生の生活科『やごの観察』の様子です。廊下で行っています。
- “密”を防ぐため、やごは水槽に1匹ずつ、6か所に間隔を空けて置いていました。観察は5人ずつ交代で教室から出て来て行うようにしたのですが・・・

□子どもたちはみな、「友だちと一緒に同じやごを見ようとする」のです。「ねえねえ、見て見て！」と言葉を交わしながら。

□この姿を見たとき、改めて子どもの本質、そして学校の本質に思いを馳せました。

子どもの本質
聞きたい・話したい・聞いてほしい・関わりたい

学校の本質
他者がいる ・ 相手がいる

□学校の最大の強みは、他者がいる・相手がいることです。2学期以降も「命を守る」ための行動の定着を図りつつ、この学校の本質や子どもの本質を大切にしたい授業を展開していきます。

3：心を守る

□ある方が、「子どもたちはこの3カ月、勉強しかなかったことになりましたよね。」とおっしゃったのを聞き、確かに！と思いました。（「勉強とゲームしかなかった。」という子どももいたことでしょう。）

□人は人と関わることで人になります。

□感染防止のための取り組みを図りながら、係や当番の活動、委員会やクラブ活動、行事、異学年の交流・・・etc 『相手意識』をキーワードに、「できること」を工夫し、実施していきます。



商店街を応援するポスター
(休業中の図工作品)

□「他者を思い遣る・他者のために動く」活動も、積極的に取り組ませたいと思っています。

□感染症と向き合う日々はまだ続きます。そんな中で、一見元気そうにしている、心の中は「ウイルスに罹ってしまったらどうしよう」と不安でいっぱいの子どもがいるかもしれないことも、忘れないようにします。

□正しく理解して正しくこわがる。そのための指導を、教材を工夫しながらこれからも行います。

□感染症に関しては、児童それぞれの捉え方の違いに加え、ご家庭の考え方も様々です。放課後の遊び方一つでも、考えが違って当然ですし、「正解」が1つではありません。相手の考え方を認め、話し合っすり合わせていくことを、子どもも大人も大切にしたいものです。戦うべきは、“自分と考え方の合わない誰か”ではなく、ウイルスや偏見です。

今後の予定等

以上のような基本的な考え方と、品川区立学校の感染症対策ガイドラインに則り、今後の教育活動の予定について、以下の通りお知らせします。（４．以下は今後の状況によっては変更がございます。）

1. 1学期終業式と2学期始業式

職員室と各教室を ZOOM で結んで、オンラインで実施します。

2. 1学期通信表は、2学期始業式（8月24日）に児童に渡します。

子どもたちは今、毎日の授業に一生懸命に取り組んでいます。できるだけ学習を進めてから、児童のがんばりを十分に評価したいと考えます。また、教員も、休業中の復習を含め学習を定着させること、また、学級としてのまとまりや、子ども同士の繋がりを築くことに総力を挙げています。

7月いっぱい、子どもも先生方も、学校生活を充実させることに集中させたいと考え、通信表の発行を2学期開始日としました。

3. 個人面談

8月25日～31日の午後、個人面談を実施します。ご来校いただくことを基本にしつつ、ご希望に応じてオンライン面談も実施可能です。詳細は後日お知らせします。

4. 運動会

感染症拡大防止のために、従来のような運動会は実施しません。

とはいえ運動会は、目標に向かって一人一人ががんばる・友達と力を合わせる・学年相互に見合っ
て認め合う、など、子どもの成長にとって欠かせないねらいを達成するための、大切な行事です。

そこで、行事名（未定）や実施方法を工夫・変更して行う予定でいます。

保護者の皆様には、10月17日（土）午前中に、「お子様のいる学年の演技」（1学年15分前後）
をご覧いただくという形になると思われます。詳細は、9月以降にお知らせします。

なお、10月19日（月）は、授業日です。振替休業日にはなりません。

5. 遠足や社会科見学

電車を利用しての行事は実施しません。

徒歩や、貸し切りバスの利用による活動は、実施の方向です。

6. 保護者会、学校公開 等

9月以降、密にならないように工夫しながら実施していく
予定（具体的な日程は未定）です。

例）・校庭での体育の時間の授業公開

・学年や学級、あるいは人数の制限を設定しての保護者会や授業公開



7. 展覧会（1月）

運動会同様、行事名（未定）や実施方法を工夫・変更して行う予定です。

8. 8月以降の土曜授業日

年度当初にお知らせしたものと同様、以下の通りです。

9月 5日、10月3日、10月17日、11月7日、12月5日、
1月16日、 2月6日、 2月20日、 3月6日

計 9日間

夏休みの課題 および 夏休み明けの作品展示・掲示

□最後に、夏休みの課題についてお知らせします。

□今年が大きく短縮され、3週間です。長期の臨時休業や分散登校の中で多くの課題をこなした子どもたちに対して、「どのような課題をどれくらい出したらよいのか」、先生方みんなで考えました。

□家庭学習を通して身に付けた、「自分で追究する力」もさらに伸ばしたい。でも、休業が長かった分、やはり復習はしっかりして定着させたい。・・・etc

□様々検討を重ね、以下のように決めました。(全学年共通)

(1) 全員が取り組むもの

国語・算数を中心に復習プリント等(各5枚程度)

日記や観察カード、新聞づくり等は、過重になり過ぎぬようにする。

(2) 選択して取り組むもの(児童がやりたいことを1つ決めて取り組む。1つ以上でもよい。)

①芸術・ものづくりコース(工作、絵画、書写、手芸・・・)

②研究コース(研究レポート、新聞作り、パンフレット作り・・・)

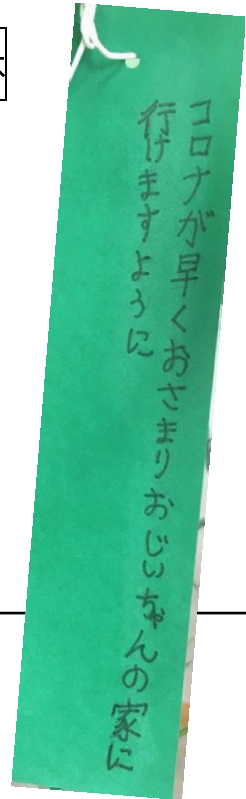
③コンクールに挑戦コース(読書感想文、各種コンクール)

④勉強がんばりコース(基礎学習を行ったノートを提出する。)

★(2) 選択して取り組むものについては、夏休み前にプリントを用いて児童に説明をします。プリントは一度ご家庭に持ち帰ります。保護者の方とも相談して、取り組むコースを決めて、終業式前日までに再びプリントをご提出ください。

★夏休みの作品展示は、8月25日(火)～31日(月)(個人面談期間)に行います。ただし、例えば④を選択した場合は「展示をしない」ことも選択できます。

夏休みの課題については、7月27日(月)からの週に、別途プリントにてお知らせするとともに、各学年日より夏休み号で詳しくお伝えします。



終わりに



□先日、ある保護者の方から可愛い“ぞうきん”をいただきました。「自粛期間中、時間があつたので。消毒に使ってください。」と。温かいお心遣い、とてもありがたく頂戴しました。

□また、PTAさんに消毒用のアルコールをたくさん用立てていただきました。短時間で多くの机を消毒するのに、大変役立ちます。改めてお礼申し上げます。

□大変な日々が、これからも続きますが、皆さまどうか、お元気で過ごされますように。